



「瀬戸から見る本渡地区・市街地の風景」／山下克己さん(熊本市在住・本市亀場町出身)・作

### 主な内容

- 3月17日から「天草Webの駅」がスタート!・・・2～3
- アウトソーシング推進計画を策定!・・・4～5
- 4月1日から「後期高齢者医療制度」が始まります・・・6～7
- 病院受療動向調査の結果を公表します・・・8～11
- 宝島の話題・・・・・・・・・・・・・・12～15
- みんなの広場・・・・・・・・・・・・・・16～19

平成20年

3

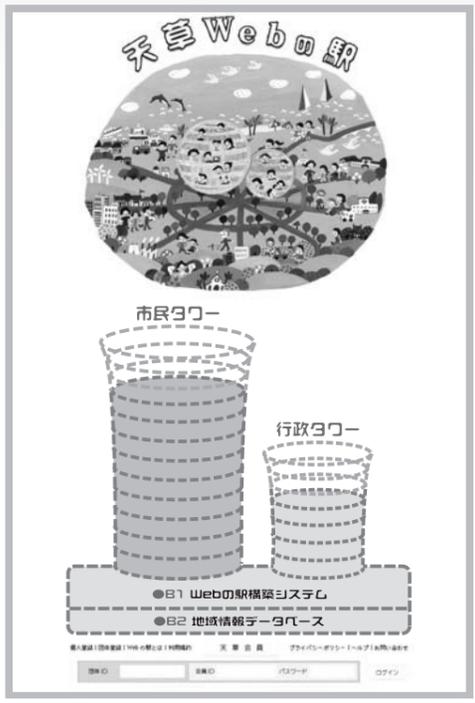
1

No.46

3月17日から

# 『天草Webの駅』がスタート！

【アドレス】 <http://amakusa-web.jp>



▲『天草Webの駅』の最初の画面(イメージ)

個人や団体などのホームページが作れたり、情報発信ができたりする機能などを持つ『天草Webの駅』が3月17日(日)にスタートします。

情報を提供・収集・共有できる機能をじょうずに活用することで、地域活動の活性化や、業種を超えた新たな特産品の開発などの新しいサービスを創出するための道具にもなります。

この事業は、「地域ICT利活用モデル構築事業」として総務省の支援を受けて、本市が本年度から取り組みを始めたものです。

今回は、『天草Webの駅』が稼動してすぐに利用できる機能や会員登録の方法、今後充実させていく機能などについて紹介します。

なお、『天草Webの駅』を利用するには、携帯電話やパソコンなどからインターネットを利用できる環境になければなりません。

## 稼動後 すぐに利用できる機能

「天草Webの駅」の稼動後、パソコンや携帯電話から利用できる機能は次の3つです(下図参照)。ただし、携帯電話での利用の際は、表示が一部限定されます。

「天草Webの駅」の機能を利用するには会員登録が必要です。なお、市内に住んでいる人は利用料無料です。皆さん、ぜひご登録ください。

### ① ホームページ作成機能

個人や団体などのホームページを作る機能で、詳しい知識がない人でもホームページを作成でき、「天草Webの駅」から情報発信ができます。例えば、インターネットを通じて、各地区振興会の催しをはじめ、歴史・文化、特産品などの情報を全世界に向けて発信でき、将来的にはネット上で物産品の販売も可能となります。

### ② コミュニティ機能(SNS)

登録された会員どうしでの情報交換や、企業や団体などの特定の会員間での情報交換ができる機能です。この機能を活用して、趣味仲間を増やしたり、団体内での連絡事項や会議案内、行事予定などの確認ができます。

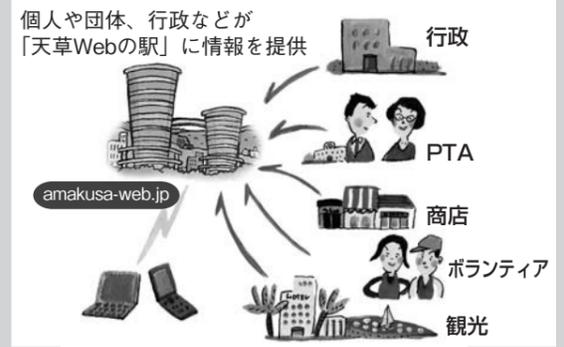
● 農林水産分野Ⅱ都市と農山漁村の人たちの交流を図るためのネットワーク機能。

● 福祉分野Ⅱ高齢者や保健・福祉サービス従事者をつなぐネットワーク機能。子育て支援情報や健康相談窓口を集約し、情報発信する機能。

● 教育分野Ⅱ安心で安全な教育環境を築くための学校・家庭・地域間のネットワーク機能。保護者向けの一斉配信メール機能。

※詳しいことは、本庁・情報政策課 情報推進係 ☎11111内線1352へお尋ねください。

### ① ホームページ作成機能(マイホームページ)



◆稼動後すぐに利用できる機能 (イメージ図)

### ② コミュニティ機能(マイコミュニティ)



### ③ ページ作成機能(マイページ)



### ◆天草Webの駅会員登録料

種類	市内の会員	市外の会員
マイホームページ	無料	平成20年度まで無料
マイコミュニティ	無料	平成20年度まで無料
マイページ	無料	無料

※このほか、宿泊予約機能や情報の一斉配信機能、デジタル地図機能、ネットショップ機能などを平成21年度以降に追加する予定です(有料)。

### ◆天草Webの駅会員登録の流れ

**携帯電話の人**

1. 新規会員登録  
天草Webの駅にアクセスし、新規会員登録を選択してください。

2. 会員規約の確認  
会員規約をよく読んでから、規約への同意をお願いします。

3. 会員情報入力  
必要な情報を入力してください。  
名前・ニックネーム・住所・メールアドレス・パスワード

4. 入力内容の確認  
入力した内容に間違いがないか確認してください。

5. 仮登録完了  
仮登録完了です。入力したメールアドレスに天草Webの駅から確認のメールが届きます。

6. 本登録  
届いたメールの本文に記載されているURLをクリックすると登録完了です。

**パソコンの人**

1. 新規会員登録  
パソコンのブラウザに以下のURLを入力し、Webの駅の画面を開いてください。  
<http://amakusa-web.jp>

2. 会員規約の確認  
会員規約をよく読んでから、規約への同意をお願いします。

3. 会員情報入力  
必要な情報を入力してください。  
名前・ニックネーム・住所・メールアドレス・パスワード

4. 入力内容の確認  
入力した内容に間違いがないか確認してください。

5. 仮登録完了  
仮登録完了です。入力したメールアドレスに天草Webの駅から確認のメールが届きます。

6. 本登録  
届いたメールの本文に記載されているURLをクリックすると登録完了です。

※携帯電話でドメイン指定受信をされている人へ  
携帯電話のメールアドレスで入会を希望する場合は、天草Webの駅からのメール(ドメイン.amakusa-web.jp)を受信できるように設定してください。

## 入会方法

インターネットを利用できる携帯電話やパソコンを持っている人で、入会を希望する人は、左下図の会員

③ ページ作成機能  
「天草Webの駅」内に集まるたくさんの情報の中から自分がほしい情報だけを選んで配置し、自分のページを「天草Webの駅」内に作ることが出来ます。

※ SNS: 対話型のインターネット上のサービス。

## 今後追加する機能

● 商店街分野Ⅱ高齢者や遠くに住んでいる人がインターネット上で買物ができるネットショップ機能。

● 観光分野Ⅱ観光資源をインターネット上の地図に集約するデジタル地図や宿泊予約などができる機能。

登録の流れに沿って操作し、登録してください。

# アウトソーシング推進計画を策定！

市では、市が行っている事務事業等の民間委託などを推進する「アウトソーシング推進計画」を策定しました。

これは、第1次天草市行政改革大綱の取り組みの一つとして、住民サービスの提供や行政運営などを効果的・効率的に行うために策定したものです。

今回は、アウトソーシングの必要性や、同計画の内容などについて紹介します。

## アウトソーシングの必要性

アウトソーシングとは、市が行っている事務事業や施設運営を、専門的な知識やノウハウを持った市民や団体、企業などに委託したり、民営化したりすることをいいます。

市では、行政改革を確実に実行するため「定員適正化計画」と「財政健全化計画」を策定。定員適正化計画では、職員数を大幅に削減することとしており、今後、住民サービスの維持・向上を図るためには、事務事業の見直し・改善や、職員の能力向上をはじめ

シングに取り組みものについては、実施時期を明確にした『推進プログラム』を作成。今後は、この推進プログラムに沿ってアウトソーシングを計画的に進めていきます。

## 推進プログラムの内容

推進プログラムには、アウトソーシングの方法や実施時期などを盛り込んでいます。アウトソーシングの方法は、

市の事務事業を①「民間委託（人材派遣を含む）」するもの

②「地域（NPO等）」との協働

で行うもの③「その他（嘱託職員など）」の3つに分け、公

の施設の管理方式を①市に代

わって施設の管理運営を行う

「指定管理者」の導入②「民営

化（民間譲渡）」③「廃止（業

務廃止・施設廃止）」④「直営

で管理運営を行う施設で、業

務委託に取り組むもの⑤「そ

の他（別に計画を策定して取り

組むもの）」の5つに区分

してあります。また、アウトソ

ーシングの実施時期は、平成

20年度から同22年度までを

「短期」、平成23年度から同25

年度までを「中期」、平成26

年度以降を「長期」とする期

限を設けています。

なお、アウトソーシングす

る「市の事務事業」と「公の

施設」の数は下表のとおりで

す。また、アウトソーシング

を「短期」に実施するものを

5ページに掲載しています。

※推進プログラムの中には、

現時点では課題があるため

今後、アウトソーシングの

方法などを検討していくも

の含まれています。

## 点検と計画の見直し

市では、アウトソーシングした事務事業などが本来の目

的どおりに実行されているか、定期的に点検を行っているか、定期的な点検を行っています。

また、行政評価システムを活用し、継続的に成果の検証と見直しを行うとともに、新たにアウトソーシングが可能となる事務事業などがないか、常に検討していくこととしています。

## ●推進計画の公表

アウトソーシング推進計画や、同計画を策定するにあたり募集した意見など（意見の概要と、それに対する市の考え方）を、本庁・企画課と各支所・総務振興課に備え付けていますのでご覧ください。また、市のホームページにも掲載しています。

アウトソーシング推進計画に対するご意見・ご提言は、本庁・企画課行政改革係へお寄せください。

※詳しいことは、本庁・企画課行政改革係 ☎1111 内線1322へお尋ねください。

## ◆アウトソーシングを短期（平成20年度～同22年度）に実施する「市の事務事業」と「公の施設」

●市の事務事業	
業務名	業務の内容
民間委託(人材派遣を含む)	
臨時・非常勤職員賃金等支払業務	市で雇用する臨時・非常勤職員の賃金などの支払い
職員厚生関係業務	職員の共済、保険などの手続き
広報紙作成業務	市政だより天草の作成・編集・印刷
広報紙配布業務	各区への市政だより天草の配布
市勢要覧作成業務	市勢要覧の作成・編集・印刷
介護予防給付事業	地域包括支援センターで行うケアマネジメント業務など
包括的支援事業業務	地域包括支援センターで行う介護予防ケアマネジメント業務など
地域健診個人負担金徴収業務	地域健診での個人負担金の徴収
一般廃棄物収集・運搬業務	本渡・牛深地区のゴミ収集・運搬
開閉栓・メーター検針・料金滞納整理業務	水道の開閉栓、メーター検針、上下水道料金滞納整理
地域(NPO等)との協働	
サポートセンター管理運営業務	NPOなどの支援拠点となるサポートセンターの管理運営
各地区振興会業務	各地区振興会の事務局業務
男女共同参画推進・啓発業務	男女共同参画推進リーダー養成講座の開催など
その他(嘱託職員など)	
学校主事業務	学校の環境美化、給食の搬送など

●公の施設		
指定管理者	民営化(民間譲渡)	新和作物選別所
牛深総合体育館	国民宿舎あまくさ荘	天草コンポストセンター
天草本渡斎場	産島バンガロー	福連木がしの木館
牛深火葬場	立浦運動広場	大江特産品加工場
御所浦火葬場	しんわたやけ市場	西平椿公園カメラアハウス
天草火葬場	天草ブルーガーデン	志柿保育所
天草市民センター	福連木まごころ市場	新和高齢者生きがい研修センター
牛深総合センター	御所浦物産館	中の浦地区高齢者活動促進施設
美来プラザ	倉岳特産品展示販売交流施設えびす茶屋	廃止(業務廃止・施設廃止)
牛深勤労青少年ホーム	新和農畜産物処理加工施設	富津第二体育館
本渡老人福祉センター	五和農畜産物処理加工施設	有明弓道場
倉岳老人福祉センター	大江農畜産物処理加工施設	久玉町大之浦いきいきふれあい館
在宅介護支援サテライト施設ふたうら	倉岳椎茸生産施設	魚貫町池田いきいきふれあい館
在宅介護支援サテライト施設おにき	倉岳特産物処理加工施設	その他
河浦生活支援ハウス	倉岳農産物集出荷施設	山口保育所ほか 20 施設
	新和育苗施設	

※「市の事務事業」と「公の施設」のいずれも、アウトソーシングを短期から複数年にわたって実施するものも含まれています。

## ◆アウトソーシングする「市の事務事業」と「公の施設」の数

●市の事務事業	短期	中期	長期	計
民間委託(人材派遣を含む)	10	5	2	17
地域(NPO等)との協働	3	1	0	4
その他(嘱託職員など)	1	0	0	1
計	14	6	2	22

●公の施設	実施済	短期	中期	長期	計
指定管理者	17	14	10	0	41
民営化(民間譲渡)	0	23	13	0	36
廃止(業務廃止・施設廃止)	0	4	5	1	10
直営で管理運営を行う施設で、業務委託に取り組むもの	0	0	4	2	6
その他(別に計画を策定して取り組むもの)	0	1	1	0	2
計	17	42	33	3	95

## ■障害認定で老人医療を受給している人へ

現在、65～74歳で老人保健制度の障害認定を受けて老人医療を受給している人は、自動的に4月1日から後期高齢者医療制度の被保険者となり、保険証が3月中旬から下旬にかけて送付されます（4月に資格の確認を行いますので、保険料の通知書は7月中旬に送付します）。  
ただし、後期高齢者医療制度の障害認定は、保険料や自己負担金などを考慮して、辞退することができます。辞退するには手続きが必要です。辞

退を希望する人は、本庁・保険年金課または牛深支所・市民課、その他の支所・市民生活課で手続きをしてください（後期高齢者医療制度に加入した後でも辞退することは可能です）。  
同制度を辞退した場合は、現在加入されている国民健康保険またはサラリーマンなどが加入している健康保険組合や共済組合等の社会保険に加入することになります。

※『後期高齢者医療制度』についての詳しいことは、市役所本庁・保険年金課医療係 ☎③1111内線1135または熊本県後期高齢者医療広域連合 ☎096-368-6511へ。

## 国民健康保険に関するお知らせ

### ■国民健康保険の高齢受給者証や退職被保険者証（一部の人）が新しくなります

現在の国民健康保険の高齢受給者証や退職被保険者証の有効期限は、高齢者医療制度の改正を考慮して3月31日までとなっています。  
そこで、新しい受給者証や被保険者証を3月末までに郵送します。  
◇**高齢受給者証が新しくなる人**  
▶**対象**＝昭和8年4月2日から同13年3月1日までに生まれた人で、現在、高齢受給者証の交付を受けている人。  
▶**変更点**＝負担割合がこれまで「1割」だった人は、負担割合の表示が「1割」から「2割（ただし平成20年7月31日までは1割）」に変わります。  
※負担割合がこれまで「3割」だった人は、表示内容は変わりません。

◇**退職被保険者証が新しくなる人**  
▶**対象**＝水色の退職被保険者証を持っている人で、昭和18年4月1日以前生まれの退職被保険者とその扶養の人。  
▶**変更点**＝退職被保険者の範囲が「74歳以下」から「64歳以下」に変わり、被保険者証の色が「水色」から「白」へ変更になります。  
※「国民健康保険限度額適用認定証」「国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証」「国民健康保険特定疾病療養受療証」を持っている人には、これらの新しい認定証なども送付します。

### ■保険証のカバーを配布しています

昨年8月から、国民健康保険の保険証と高齢受給者証が被保険者一人ひとりに交付されるカード型となり、以前の保険証カバーでは大きさが合いませんでした。  
そこで新しいカード型の保険証に合ったカバーを本庁・保険年金課または牛深支所・市民課、その他の支所・市民生活課で配布しています。希望する人は同課へお申し出ください。

【問い合わせ先】本庁・保険年金課国民健康保険係 ☎③1111内線1132

4月1日から

## 後期高齢者医療制度が始まります

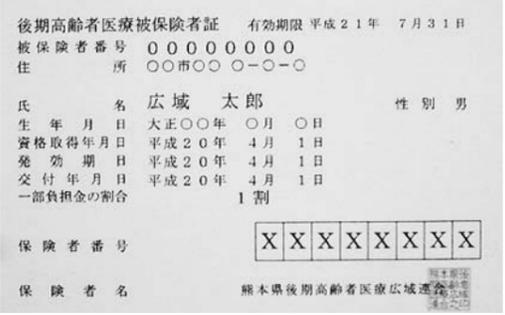
～後期高齢者医療被保険者証などを郵送～



4月1日から『後期高齢者医療制度』が始まります。75歳以上（65～74歳で一定の障害認定を受けた人を含む）のすべての人は同制度に加入することになります。  
今回、後期高齢者医療被保険者証や保険料の通知書などの郵送についてお知らせします。  
※保険料の計算方法や納付方法については、市政だより天草1月1日号の6・7ページをご覧ください。

### ■保険証(被保険者証)はいつ届くの？

後期高齢者医療制度では、被保険者一人ひとりに水色のカード型の保険証（後期高齢者医療被保険者証＝下写真）が交付されます。  
保険証は、同制度の対象となる75歳以上（65～74歳で一定の障害認定を受けた人を含む）のすべての人に、今年3月中旬から下旬にかけて郵送します。  
4月1日以降に医療機関にかかるときは、この保険証を提出してください。なお、現在お使いの国民健康保険や社会保険の保険証と老人医療受給者証は使えなくなります。



▲後期高齢者医療被保険者証（見本）

◆**同時に交付されるもの**  
現在の老人保健制度で、限度額適用・標準負担額減額認定証や特定疾病療養受療証の交付を受けている人には、次の認定証・受療証が自動的に交付されます。  
①後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証  
②後期高齢者医療特定疾病療養受療証

※転入や転居をされた場合などには保険証が届かない場合があります。保険証が届かない場合は市役所本庁・保険年金課医療係へご連絡ください。

### ■保険料の通知書の送付時期は？

後期高齢者医療制度では、保険料は被保険者一人ひとりが負担します。保険料については、保険料額などを記載した通知書を下のとおり送付します。なお、現在加入している医療保険や保険料の納入方法の違いなどで保険料の納付開始時期が異なるため、通知書の送付時期も異なります。  
なお、保険料の納付方法については、年度途中で変わる場合があります。

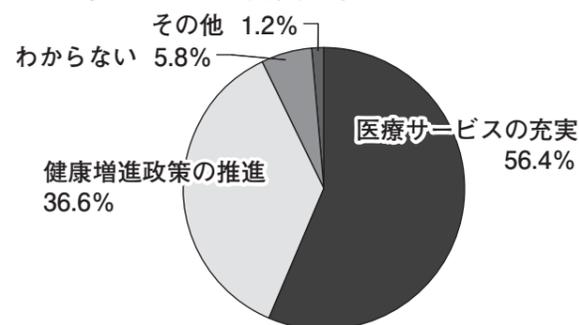
- 平成19年9月末時点で国民健康保険に加入していた人で、後期高齢者医療制度では保険料を年金から差し引かれる人 → **4月中旬に送付します**  
※保険料を年金から差し引く場合は、4月に平成18年分の所得をもとに算定した仮徴収額の通知書を、10月に同19年分の所得で算定した確定額の通知書を送付します。
- 平成19年9月末時点でサラリーマンなどが加入している健康保険組合や共済組合等の社会保険の被保険者本人 → **7月中旬に送付します**
- 平成19年9月末時点で国民健康保険に加入していた人で、後期高齢者医療制度では保険料を納付書や口座振替で納める人 → **10月中旬に送付します**
- 平成19年9月末時点でサラリーマンなどが加入している健康保険組合や共済組合等の社会保険の被保険者に扶養されていた人 → **10月中旬に送付します**

# 病院受療動向調査の結果を公表します

市では、地域医療の在り方や必要とされる医療サービスなどについて検討するため、市民の皆さんが、どの地域の医療機関をどのように利用されているかなどを把握する「病院受療動向調査」を実施しました。今回、その調査結果がまとまりましたのでお知らせします。ご協力ありがとうございました。

### ③天草市が進めるべき保健医療施策の方向性は？

→医療サービスの充実に求めている



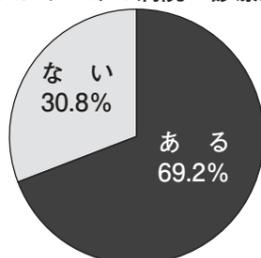
健康増進に対する関心よりも、「医療サービスの充実」に対する関心が高いという結果が出ました。

唯一、有明地域のみ「健康増進政策の推進」という回答が多くなっています。

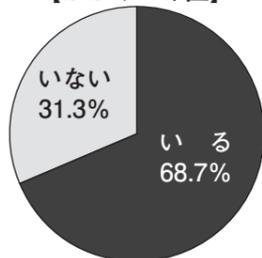
### ④世帯のかかりつけ病院や診療所はありますか？ また、かかりつけ医はいますか？

→7割の世帯が「かかりつけ病院・診療所」を、7割の市民が「かかりつけ医」を持っている。

【かかりつけの病院・診療所】



【かかりつけ医】

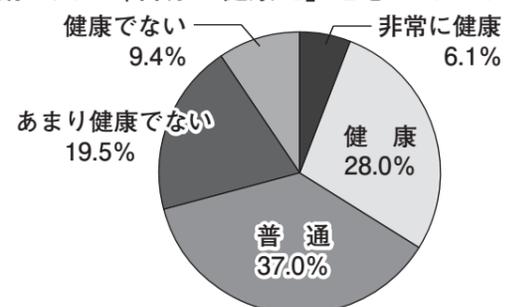


7割の世帯が「かかりつけ病院・診療所」を、7割の人が「かかりつけ医」を持っています。特に、牛深・有明・栖本・河浦地域では、多くの方がかかりつけ医を持っているようです。

診療科目別では、内科（66.3%）、整形外科（6.3%）、外科（5.4%）、小児科（4.9%）の順となっています。

### ⑤自分の健康状態は？

→7割の人が「自分は健康だ」と思っている。

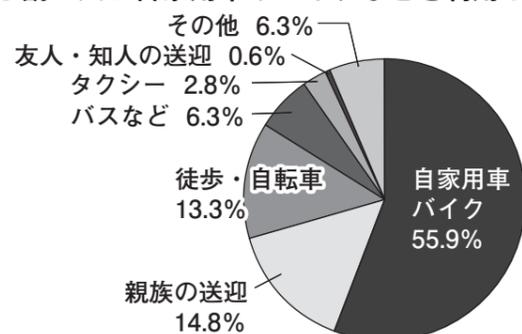


7割の人が「健康」または「普通」だと思っています。

年代別では、30歳代までは「健康」と感じている人が、40～60歳代では「普通」、70～80歳代では「あまり健康でない」が1番多くなっています。

### ⑥通院のときの交通手段は？

→6割の人が自家用車やバイクなどを利用している。



「自家用車・バイク」を利用している人が半数を超えています。

性別では、男性の69%が「自家用車・バイク」を利用していますが、女性は49%となっています。女性は、「バスなど」「親族の送迎」「徒歩・自転車」の割合が男性より多くなっています。

### ◇調査対象・方法

調査は、旧市町の地域特性や人口比などを考えて地区を選定し、その地区の中から無作為に抽出した世帯を対象に事前に調査票を郵送し、調査員が聞き取り調査を行いました。調査対象は2,499世帯・7,257人（世帯票回収数：2,106世帯〔回収率84.3%〕。個人票回収数：5,391人〔回収率74.3%〕）。

### ◇調査結果の活用

市では、病院受療動向調査の結果を「天草市における病院受療動向調査報告書」としてまとめ、10月に開かれた「第2回市立病院等の経営の在り方等に関する審議会」へ報告しました。同審議会では調査結果を踏まえて、今後も地域医療の在り方などについて検討していきます。

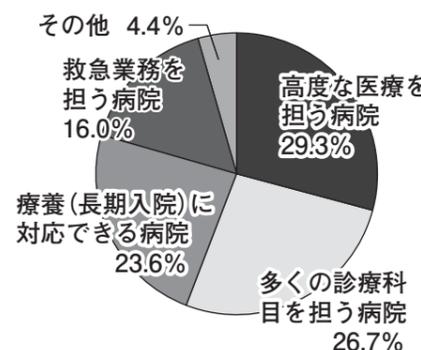
### ◇調査結果のまとめ

病院受療動向調査結果の概要は8～11ページのとおりです。

なお、各項目ごとの性別や年代別、地域別などの詳しい調査結果をまとめた「天草市における病院受療動向報告書」を本庁・企画課または各支所・総務振興課に備え付けているほか、市のホームページでも見ることができます。

### ①住んでいる地域で今後望まれる医療サービスは？

→高度で多様な診療ができる病院を望んでいる。

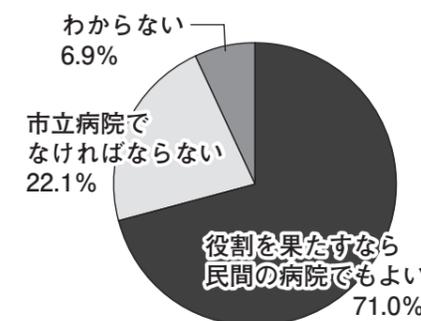


全体では、「高度な医療を担う病院」「多くの診療科目を担う病院」「療養（長期入院）に対応できる病院」がほぼ同じ割合となっています。

地域別では、医療機関が充実している地域とそうでない地域で大きく異なっているようです。

### ②病院は市立でなければなりませんか？ 民間でもよいですか？

→役割を果たすなら民間の病院でもよい。



7割の人が「役割を果たすなら民間の病院でもよい」と思っています。

地域別では、新和・河浦地域で「市立病院でなければならない」という人の割合が30%を超えていますが、本渡・倉岳・五和・天草地域では「役割を果たすなら民間の病院でもよい」とする人の割合が70%を超えています。

⑫入院・外来とも市内の医療機関で診察を受ける割合が高く、市外の方が診療を受けに来る流入割合は低い。

市内医療機関で診察を受けている割合は91.6%で、市外の医療機関に8.4%依存しています。また、市外からの市内医療機関への流入割合は6.4%となっています。

居住地	区分	医療機関所在地											計	
		本渡	牛深	有明	御所浦	倉岳	栖本	新和	五和	天草	河浦	天草市内		天草市外
天草市内	入院	1,260	414	116	0	13	51	30	280	0	119	2,283	446	2,729
	外来	25,235	7,690	1,383	1,255	809	1,014	865	1,616	1,038	2,476	43,381	3,727	47,108
	計	26,495	8,104	1,499	1,255	822	1,065	895	1,896	1,038	2,595	45,664	4,173	49,837
天草市外	入院	221	14	39	0	1	0	0	21	0	0	296	0	296
	外来	2,443	194	126	24	75	28	6	219	26	19	3,160	0	3,160
	計	2,664	208	165	24	76	28	6	240	26	19	3,456	0	3,456
計	入院	1,481	428	155	0	14	51	30	301	0	119	2,579	446	3,025
	外来	27,678	7,884	1,509	1,279	884	1,042	871	1,835	1,064	2,495	46,541	3,727	50,268
	計	29,159	8,312	1,664	1,279	898	1,093	901	2,136	1,064	2,614	49,120	4,173	53,293

※平成18年5月診療分の本市に関連する国民健康保険診療報酬明細書（レセプト）53,293件をもとにまとめています。

⑬かかりつけ医療機関は、本渡・牛深地域に集中している。

かかりつけ医療機関の所在地は、回答のあった3,392件中1,740件（51.3%）が本渡地域、603件（17.8%）が牛深地域で、この2つの地域に集中しています。また、かかりつけ医療機関が住んでいる地域内にある人の割合は、本渡・牛深地域が高く、倉岳・五和・天草地域では低くなっています。

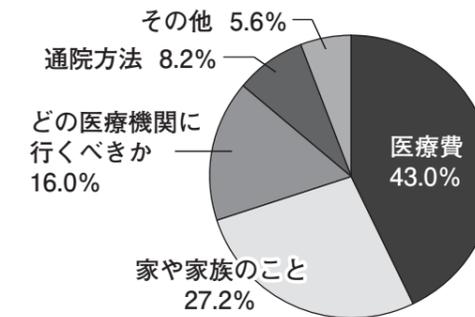
居住地	区分	医療機関所在地											計
		本渡	牛深	有明	御所浦	倉岳	栖本	新和	五和	天草	河浦	天草市外	
本渡地域	本渡	1,310	2	27	0	3	9	1	30	0	0	6	1,388
		94.4%	0.1%	1.9%	0.0%	0.2%	0.6%	0.1%	2.2%	0.0%	0.0%	0.4%	
	牛深	46	588	0	0	0	0	0	0	0	13	2	649
		7.1%	90.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.3%	
	有明	45	0	150	0	0	0	0	0	0	0	2	197
		22.8%	0.0%	76.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	
	御所浦	26	0	0	63	1	0	0	0	0	0	2	92
		28.3%	0.0%	0.0%	68.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	
	倉岳	27	0	1	0	65	17	0	0	0	0	1	111
		24.3%	0.0%	0.9%	0.0%	58.6%	15.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	
牛深地域	栖本	17	0	0	0	5	71	0	0	0	0	1	94
		18.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	75.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	
	新和	36	2	0	0	0	0	72	0	0	0	1	111
		32.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	
	五和	156	0	1	0	0	1	2	157	0	0	20	337
		46.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	46.6%	0.0%	0.0%	5.9%	
	天草	30	2	1	0	0	0	0	10	100	5	19	167
		18.0%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	59.9%	3.0%	11.4%	
	河浦	47	9	1	0	0	0	1	1	2	184	1	246
		19.1%	3.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.8%	74.8%	0.4%	
計	1,740	603	181	63	74	98	76	198	102	202	55	3,392	
	51.3%	17.8%	5.3%	1.9%	2.2%	2.9%	2.2%	5.8%	3.0%	6.0%	1.6%	100%	

※アンケート調査の回答の中で、かかりつけの医師がいて、その医療機関名の回答があった3,392件をもとにまとめています。

【問い合わせ先】本庁・企画課企画調整係 ☎ 1111 内線1316

⑦病気になったときに気がかりなことは？（複数回答可）

→一番の心配事は医療費。

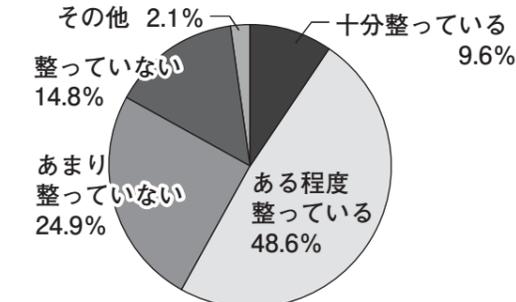


約4割の人が病気になったときに気がかりなことは「医療費」としています。

年代別では、青壮年期では「医療費」「家や家族のこと」、高齢期になると「通院方法」などが気がかりとなっているようです。

⑧住んでいる地域の救急医療体制は整っていますか？

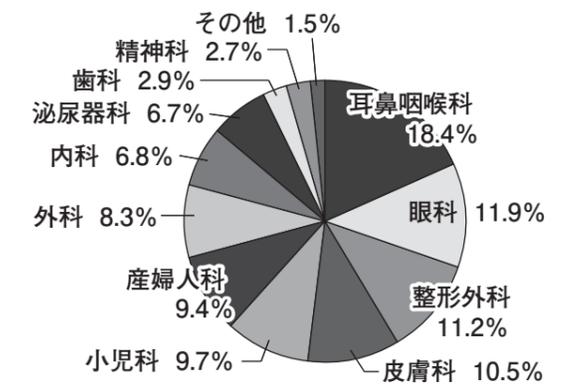
→6割の人は整っていると回答。



全体の6割近くが整っていると思っています。地域別では、本渡・栖本・新和・河浦地域では「ある程度整っている」と、それ以外の地域では「十分でない」と感じており、救急車の搬送時間が長い地域ほど不満足度が高いようです。

⑨不自由を感じる診療科目は何ですか？（複数回答可）

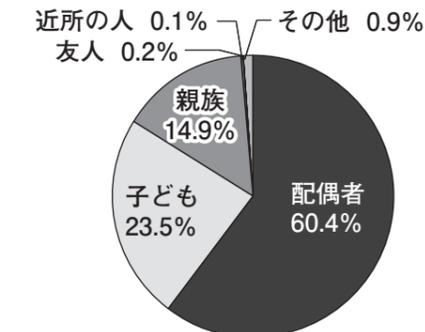
→不自由な診療科目があるという人が3割で、不自由を感じる診療科目は耳鼻咽喉科が1番多い。



不自由な診療科目は、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科の順となっています。

⑩病気のときに介抱してくれる人はいますか？

→9割の人が介抱してくれる人がいると回答、そのほとんどが配偶者や子どもなどの親族。

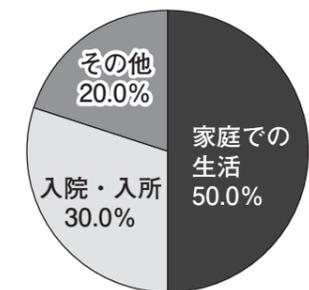


介抱してくれる人がいると回答した人は90%で、そのうちの84%が同居しています。

関係性を見ると、「配偶者」や「子ども」、「親族」が多くなっています。

⑪高齢で病気になったときに望む生活は？

→5割の人が家庭で生活することを望んでいる。



半数の人が家庭での生活を望んでいますが、倉岳・新和・河浦地域では「入院・入所を望む」という人の割合が、ほかの地域より高くなっています。



▲北海道直送のサケを使った石狩鍋を前に大きな声で「いただきます」

### 学校給食で浦河町と産物交流

～北海道の「石狩鍋」体験給食会～

1/29  
河浦

河浦学校給食センターでは、北海道の浦河町で水揚げされたサケと、河浦産のきゅうりやポンカンを使った浦河と河浦の交流メニューを楽しむ「体験給食会」を、平成8年から各小学校持ち回りで行っています。浦河町とのつながりは明治4年、河浦町立原地区の10世帯46人が浦河町に入植したのが始まりで、平成8年6月に友好交流町提携を締結。同給食会は、新合小学校に地区振興会長らを招いて行われ、北海道直送のサケを使った石狩鍋を堪能しました。



▲演芸祭で自慢の踊りと歌を披露する出演者

### やってみゅ～かい

～牛深地区作品展 & 演芸祭～

2/1～3  
牛深

2月1日から3日までの3日間、牛深地区振興会主催のだれでも気軽に参加できる文化祭「やってみゅ～かい」が牛深総合センターで開催されました。作品展には書道や絵画、工芸品など約750点が展示され、25点が「やってみゅ～かい大賞」に選ばれました。2日の演芸祭では11組の出演者が歌や踊りを披露し、客席から花束が贈られるなど、大変盛り上がりました。また、チャリティー募金も行われ、集まったお金は市社会福祉協議会に贈られました。



▲こわ～い鬼の登場に逃げ回る園児たち

### 「鬼はそと」「福はうち」

～新合保育所で節分の豆まき～

2/1  
河浦

新合保育所で2月1日、節分の豆まきが行われました。この豆まきは毎年、近くに住む山本栄蔵さんが「子どもたちがかぜをひかず、明るく元気で1年間過ごせるように」と鬼の格好をして、盛り上げてくれます（今年で8回目）。はじめは怖い鬼を見て、逃げ回ったり、泣いて先生の後ろに隠れていた子どもたちも、時間がたつと泣くのをこらえ「鬼はそと」と豆をまき始めました。子どもたちのその姿を見て、鬼はこっそり逃げていきました。



▲あとは頼んだぞー！

### 17チームが雨風を切って力走！

～天草町駅伝大会～

2/3  
天草

2月3日、市青年団天草支部（木蜜裕樹支部長）が主催する恒例の「第28回天草町駅伝大会」が開催され、学生・一般の部に合計17チームが参加し、健脚を競いました。

コースは福連木～大江を縦断する8区間24km。選手たちは、雨の中寒さに震えながらも、懸命にたすきをつなぎ、沿道の声援に応えていました。

【成績結果】●学生の部…①天中野球部A②おーど坊主③天中野球部B ●一般の部…①西天草分署②高浜職員会③とうげ



# Treasure Island Topics 宝島の話



▲園児とお年寄りの皆さんが笑顔で握手

### 子どもたちとお年寄りが交流を深める

～苓陽幼稚園が老人ホームを慰問～

1/18  
倉岳

苓陽幼稚園（鶴戸継啓園長）では1月18日、特別養護老人ホーム愛愛園を訪れ、お年寄りの方々と交流を深めました。この日は年長組8人が「裸の王様」の劇や、ハンドベルの演奏を披露。交流会も行われ、最後に「いつまでも元気で長生きしてください」とメッセージを送り、お年寄りの皆さん全員と握手を交わしました。

同幼稚園では、1月24日には栖本町の梅寿荘と上天草市の相生荘も訪問し、歌や踊りを披露しました。



▲コートでは白熱した試合が展開されました

### 寒さに負けず一球入魂！

～有明町冬季ミニバレー大会～

1/27  
有明

1月27日、有明町ミニバレーボール協会主催の「第16回冬季ミニバレーボール大会」が有明体育館で開催されました。当日は20チーム、ミニバレーボール愛好者約120人が参加。5チームずつ4パートに分かれ、4試合の総当たり戦により、総合成績を競いました。

試合では、鋭いアタックやブロック、技ありのレシーブなどスピード感あふれるプレーが続出し、体育館いっぱいに参加者の元気な声が響いていました。



▲地元産の菜種油で揚げた“くじらカツ”をおいしそうに食べる児童ら

### 地元産の菜種油を使った学校給食

～菜の花プロジェクト～

1/28  
本渡

1月24日から同30日まで、本渡地区の小・中学校と市立幼稚園の学校給食に、菜種油を使って調理されたメニューが登場しました。この菜種油は、市の「菜の花プロジェクト」を受けて宮地岳営農組合が生産したものです。28日のメニューは“くじらカツ”。本渡南小学校1年3組では、招待した霧田辰也・本渡南幼稚園長とおいしそうに食べていました。なお、調理後の廃食用油は、環境にやさしい軽油代替燃料に変換し、給食配送車などの燃料として使用します。



▲県農業コンクール各部門と農山漁村いきいきシニア活動表彰農業部門の受賞者の皆さん

### 受賞おめでとうございます

～県農業コンクール・農山漁村いきいきシニア活動表彰～  
2月8日、県農業コンクール大会表彰式が行われ、組織農業部門でJA本渡五和果樹部会柑橘部施設デコポン会が、環境部門でJAあまくさ花き部会トルコギキョウ専門部会が最高賞の秀賞と合わせて農林水産大臣賞を受賞しました。2月1日には農山漁村いきいきシニア活動表彰式が行われ、農業部門で吉永三代子さん(本渡町)が県賞を受賞しました。  
【県農業コンクール大会のその他の結果】  
個別経営部門優良賞…福永修一さん・千津子さん(有明町)、新人王部門優良賞…田中誠さん(栖本町)、地域貢献賞…野中育代さん(久玉町)



▲県代表として都道府県対抗男子駅伝競走大会で活躍した根岸成光くん

牛深中の根岸成光くんが県代表として力走！  
～全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で熊本県が4位入賞～  
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が1月20日、広島市で開かれ、牛深中学校3年の根岸成光くんが県代表として出場し、熊本県チームの4位入賞に貢献しました。  
根岸くんは、中学生区間の2区・3kmを力走。「全国のレベルは高く、まだまだ練習不足を感じました。応援してくれた人々への感謝の気持ちを忘れず、高校へ進学しても陸上を続け、またこの大会に出たいです」と今後の抱負を語っていました。



▲パネルディスカッションでは安田市長らがパネリストとして参加

### 田舎暮らしの魅力を都市住民にPR

～天草で暮らそう！シンポジウム in 福岡～  
田舎暮らしの魅力を都市部の人たちにPRしようと2月17日、「天草で暮らそう！シンポジウム in 福岡」をアクロス福岡（福岡市）で開催しました。当日は、玉田樹・ふるさと回帰総合政策研究所長による基調講演や天草へUターンした市民の実践報告のほか、『天草を“ふるさと回帰”の宝島にするため』をテーマにパネルディスカッションを実施。参加者は「温暖な気候と景勝地が魅力的。移住または二地域居住も考えてみたい」などと話していました。



▲『地域に根ざした生涯学習』をテーマにしたパネルディスカッション

いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習！  
～どこでも生涯学習フォーラム～  
2月16日、これからの生涯学習のあり方について考える『どこでも生涯学習フォーラム』を五和町コミュニティセンターで開催しました。岩永雅也・放送大学教授による記念講演のほか、元テレビ局アナウンサーの小出史さんをコーディネーターに迎えてパネルディスカッションを実施。岩永教授が「生涯学習は、いつでも、どこでも、だれでもできる。ぜひ、何かをはじめてみてください」などと語られ、約150人の参加者は熱心に聞き入っていました。



▲花苗をていねいに植えていく 栖本地区振興会環境部会員の皆さん

### 花に囲まれた心とむまちを目ざして 2/3 栖本

～栖本地区振興会環境部会が花苗を植栽～  
2月3日、国道266号沿いにある植樹帯約75㎡に300本の色鮮やかなクリサンセマム（別名：ノースポール）が植えられました。これは、県管理の植樹帯を有効活用しようと、栖本地区振興会の環境部会員が昨夏のひまわりを引き続き植栽。部会員からは、「ここは栖本町の玄関口となる場所。訪れる人たちが、この花を見て少しでも和んでもらえたら」と白い息を吐きながら、笑顔で作業に打ち込んでいました。



▲東京都で行われた贈呈式で、児童を代表して6年生の鳥羽瀬萌恵さんが活動事例を発表

### 城河原小学校のホタル便に荣誉 2/10 五和

～SYDボランティア奨励賞特別賞受賞～  
城河原小学校が2月10日、(財)修養団主催の「第2回SYDボランティア奨励賞特別賞」を受賞しました。この賞は、次世代を担う青少年がボランティア活動を実践し、優れた業績をあげたグループや個人に贈られるもの。同校が城河原地域づくり振興会などと平成15年から行っている、福岡の病院や隣接する特別支援学校の子どもたちへ、ダッシュ8を利用してホタルを送る取り組みや、全校児童の手紙を通じた交流活動が評価され、今回の受賞となりました。



▲3km出場の皆さんが元気よくスタート！

### 潮風を受けながら楽しく健康づくり 2/11 御所浦

～しおさいマラソン大会・よかところ祭～  
第17回しおさいマラソン大会が2月11日、御所浦小学校グラウンドをスタート・ゴールに行われ、マラソンと歩こう大会に約540人が出場しました。“健康マラソンの原点に帰り、楽しく、ゆっくり走ろう”と今回は記録を計らずに実施。親子連れは手をつなぎ仲よく走っていました。参加賞にはタオルのほか、町外からの参加者にはタイも贈呈。午後にはよかところ祭も開かれ、訪れた人たちは演芸を見たり、もち投げに参加したり、楽しく過ごしていました。



▲自己記録を目ざし、白熱したレースを展開！

### 寒風のもと、413人が健脚を競う 2/17 新和

～天草ロードレース～  
2月17日、浦田春生バルセロナオリンピック出場記念『第13回天草ロードレース大会』が新和町民センター周辺をスタート・フィニッシュするコースで開催され、413人が参加しました。レースは、県内外の有力高校の選手が白熱したレースを展開したほか、今回から、家族で参加できるミニハーフマラソンやミニマラソンコースが新設され、手をつないで走る親子の姿もあり、従来の選手育成に加え、幅広い年齢層の人が参加できる大会となりました。



市長随筆



夢ある一大プロジェクト

1月31日、牛深沖で取り組まれているクロマグロ養殖のいけすを視察させていただき、生育状況などを見てきました。45〜50cmの幼魚が縦横に泳ぎ回ったり、威勢よくえさを食べたります姿を目の当たりにし、停滞する天草の水産業に活力を与えてくれる、夢ある一大プロジェクトだと確信を得てきたところです。

見込んでいるところ。一方、別の業者の手で、国内最大級の養殖施設を整備する計画が新和町沖で進められており、これらの養殖場が完成し、出荷が始まると、天草は日本一のクロマグロの生産基地となります。ひいては、40%にも満たない日本の食糧自給率の向上や、すしが好まれている米国などへの輸出が伸びると、外貨獲得にもつながります。また、えづけの光景などは、天草の宝の一つとして、観光資源にもなりうると思えながら、海の黒ダイヤを眺めてきました。

天草市長 安田 公寛

宝島の健康 よろず屋



坂本 ツネミ さん (五和町御領・85歳)

—— 毎日の楽しみは？  
読書をすることです。昔から本を読むのが好きで、今までにどれだけ読んだかわかりません。あと、景色を眺めながら約2km歩くことも楽しみの一つですね。

—— 健康の秘訣は？  
よく体を動かすことですね。毎日、独自に考案した体操をしたり、週に1回、グラウンドゴルフをしたりしています。また、20年くらい前から体を塩で洗っています。これを始めてから、かぜをひかなくなりました。

善意の寄付

(5月7日～2月2日受付分) ありがとうございました (敬称略)

- 天草市チャリティーゴルフ大会実行委員会…市福祉基金へ
●錦戸企業グループ(三和コンクリート工業(株)・天草石油(株)・三和電工設備(株))…図書購入費として
●横山隆弘(下浦町)…市福祉基金へ
●横山スエカ(志柿町)…子どもたちの読書振興のために
●(有)ミカンセイ…本渡老人福祉センターの充実のために
●(株)天草自動車学園・田中正友…子どもの交通安全対策のために
●(社)天草法人会女性部会…中学校の学用品の充実のために
●本渡商工会議所女性会…市福祉基金、市奨学金貸付基金へ

熊本県福岡事務所発 ほっと情報便



熊本県福岡事務所 ☎092-737-1313

久しぶりに天草で、恩師の先生や同級生と食事をする機会がありました。天草から見た福岡、福岡から見た天草の話に話がおよび、「天草の海岸線は自然が残っています素晴らしい。これを生

2のゆびと〜まれ



子どもたちにさまざまな感動体験を!

さくら保育園

本渡町本戸馬場のさくら保育園(安田康子園長・全園児132人)では、遊びやお寺での礼拝、田植えや稲刈り、コンサート鑑賞などのさまざまな体験活動を通して、子どもたちの感性をばぐくんでいます。この日は、薄い木の板を自由に組み合わせて造形物をつくる『KAPLA(小人の板)』と呼ばれる遊びを行いました。子どもたちは自由な発想で一心に遊びと向き合い、集中力や創造力を高めています。幼いころからの体験の積み重ねを通して、健やかでたくましい子どもに育ててほしいと願っています。

かすべきだ」などの意見がありました。天草地域の宝(資源)を私たち一人ひとりが見つけ直し、掘り起こし、磨きあげることが重要であると再認識しました。また先日、九州新幹線全線開通をにらみ、広島市内で熊本の観光を売り込むための「熊本観光マーケット」を開催しました。天草宝島観光協会の職員の方に天草の春のイベントを紹介していただき、天草をPRする良い機会にはなりませんが、天草の名前しか知らない人が多く、これか

らは熊本県内各地との地域連携や長崎県などとの広域連携を図り、天草をPRする必要があります。この2年間、福岡の情報や福岡から見た天草の情報をお届けいたしました。天草には自然、物、文化など自慢できる本物の素材がたくさんあります。もっと本物にこだわりたい。天草でしかできない、天草でしか味わえないものを探し、磨くことで本物の宝島になると思っています。
▼報告者・木村 英樹 (市職員・県福岡事務所派遣)

地域へ広がる

宮っ子パワー

宮地岳小学校

天草市の中央部に位置する宮地岳小学校(西島英孝校長・全校児童22人)では、「かなかましく」班」でのたて割活動ががんばっています。飼育や栽培、清掃活動、校内行事に至るまで、1年生から6年生まで一人ひとりが大きな役

割を果たしています。また、年間30回以上実施される宮地岳わんぱく事業では、本の読み聞かせや田植え、通学合宿、炭焼き、茶道教室などが行われ、地域の多くの方々のご協力のもと、生き生きとした子どもたちの姿が見られます。特に、9月の通学合宿では、知恵と忍耐と協力を学ぶことができました。今日も地域で育つ「宮っ子」の元気な声が響いています。



息を合わせて、全校児童みんなでジャンプ!

ぼくのわたしの校話 自慢



ゴミを拾いながら水質を調べる生徒たち

自然が大好き栖本カッパ隊

栖本中学校

栖本中学校(山口英美和校長・全校生徒92人)では、河内川の清掃活動を行う「カッパ活動」を栖本小学校と合同で実施しています。この取り組みは平成14年から毎年続けているもので、年々ゴミの量も減ってきました。校内では、環境委員会が中心となって、環境ISO(環境国際標準化機構)活動として水や紙の節約などに取り組んでいます。このことが評価され、昨年11月に行われた「第1回くまもと・みんなの川と海づくり県民大会」で県民運動賞を受賞。また、毎年行われる学校版環境ISOコンクール中学校の部でも4年連続で賞を受賞しています。今後も積極的に環境美化に取り組んでいきます。



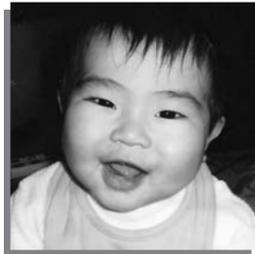
けいこ  
細島景子ちゃん

港町  
平成19年3月10日生  
父・秀勝さん 母・順子さん  
宝物になる思い出を  
たくさん作りましょうね。



ななみ  
平田菜々美ちゃん

港町  
平成19年3月21日生  
父・良さん 母・八代美さん  
若菜姉ちゃん、良輝兄ちゃん、み  
ーん大好き！仲良くしてネ♡



りん  
松下凜ちゃん

伊予土町  
平成19年3月22日生  
父・健太さん 母・詩織さん  
わが家の人気者♡  
みんなまた遊んでね♡



みそら  
福田美空ちゃん

志柿町  
平成19年3月22日生  
父・安則さん 母・加奈さん  
イチゴとミカンが大好き！  
明るくて丈夫な子に育ってね！！



のどか  
吉田和加ちゃん

亀場町亀川  
平成19年3月23日生  
父・幸司さん 母・香さん  
名前のとおり、みんなをのどかにしてくれます。  
これからますます元気に育ってください。



松本ゆいちゃん

志柿町  
平成19年3月29日生  
父・修一さん 母・まきさん  
食べるの大好き！お兄ちゃん大好き！  
元気いっぱい！

4月で満1歳になるお子さんを募集します！  
●応募期限＝3月10日(月)まで(必着)。  
●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は6人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。



# 匠 生業の継承者たち

—水産業を支える後継者—

「獲れた魚に付加価値をつけたい」

たかひで  
脇島隆豪さん(御所浦町御所浦・35歳)

天草島内で数少ない二艘まき網の網元。一艘まき網とは、船二艘で網を広げ、魚が中に入ったところで網を巻き上げて魚を獲る漁法で、集漁船2艘と網船2艘、魚を運ぶ運搬船1艘の計5艘で漁に出る。

27歳のとき、「曾祖父の代から続いている家業を途絶えさせたくない」と思い、勤めていた会社を辞めて家業を継いだ。父親の背中を見て育ったため家業を継ぐことに抵抗はなかったが、漁についてはまったくの素人。1年目は網船に乗り、全体を見て、動い

て、実践の中で漁のやり方を体叩き込んだ。2年目からは運搬船に乗り込み、今では漁全体への指示を出す。海での仕事は危険と隣り合わせ。船の点検や天候の確認などは乗組員一人ひとりが神経を使う。「獲れた魚を運ぶ途中で急に天候が崩れたときなどは特に危険。魚の重みで船が沈んでいるので、波が高くなる」とひとまりもない。自然が相手の仕事だけに、魚場の探索はまさに網元の腕の見せ所。天候や毎日つけている日誌、これまでの経験などをとくに、どの辺りに魚がいるか予測を立てる。「自分の読みが当たって大漁のときは格別」。漁の醍醐味だ。昔に比べて設備も整い、労力的には楽になったそうだが、改良できる点を取り入れたいと意欲を見せる。また、網元として、より高く魚を売る方法を探索中。「獲って売るだけの時代は終わった。今は、そこに付加価値をつけることが重要」。水産業を支える後継者の挑戦は続く。

1月18日、栖本福祉会館で「天草地域まちむら探検隊」が開催されました。これは、地域づくり団体相互の情報交換などを目的として、「火の国未来づくりネットワーク」が県内各地域で行っている交流事業です。当日は天草島内外から約150人が参加。県内の7つの地域づくり団体の活動事例が発表されました。天草市からは栖本地区振興会が、「河童の住める川づくりまちづくり」と題して、栖本地区のシンボル“かっぱ”を用いた特産品開発やメニューメント設置などの取り組みを紹介しました。振興会で考案し、8月から発売している“へのかっぱ”ストラップは、地元の温泉センターや各種イベントで積極的に販売活動を



▲栖本地区のシンボル“かっぱ”を用いた地域づくりの活動事例を発表

## 地域づくりの成果を発表

人が動く 地域が動く 天草が動く

栖本地区振興会(末松秀春会長)

1月18日、現在までに約2,500個を売り上げたこと。今後このストラップ販売のノウハウを生かし、新たな特産品開発に向け取り組んでいくことや、今年度から始めた夕市や花街道整備事業についても『無理せず長く続けよう』を合言葉にがんばっていることなど、地域づくりの取り組みを発表しました。

## みんなの声

収集日ではないのに出されたゴミが散乱。どうにかできないの？

最近、収集日ではないのに出されているゴミがあり、野犬やカラスなどが食べ散らかして非常に迷惑しています。また、分別していないものや水切りをしていないゴミもあると聞きます。何とかならないのでしょうか。(匿名希望)

【お答えします】

市では、ゴミ排出量の削減と資源化の推進を図るため、「資源物」「燃やせるゴミ」「燃やせないゴミ」に分別して、決められた日に、決められたゴミ収集場所に出していただいています。

ゴミ収集場所は、各地区で話し合っており、その維持管理も各地区で行っていただいています。ゴミを出せる日は、ゴミの種類によって異なり、出せる時

皆さんの声・お便りを  
お寄せください

■ハガキ・封書・FAXで  
〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課  
・FAX 701016  
■市長への便り  
本庁や各支所、公民館など約80カ所に備えてある便せんに記載し、専用封筒に入れ、ポストへ投かんしてください。  
■電子メールで  
市ホームページの「ご意見箱」コーナーから送信。  
※ご意見などをお寄せいただくときは、必ず住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入してください。  
本庁・秘書課広報広聴係  
☎11111内線1208

また、生ゴミは水切りをしっかりと出してください。ゴミの減量と資源化に、皆さんのご理解とご協力をお願いします。  
【本庁・環境課廃棄物対策係】



【編集発行】

熊本県天草市役所  
総務部秘書課広報広聴係  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-22-7016  
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>  
E-mail [hisyoka@city.amakusa.lg.jp](mailto:hisyoka@city.amakusa.lg.jp)



練習嫌いだがスピードのある水泳選手。それでも、そんな選手の方が有望だと考えるコーチが多い中、「世界を目ざすには素直な人間性が大切だ」と訴えたコーチがいた。その人は北島康介選手と北京五輪を目ざす。「助言に素直に耳を傾ける人間性」…私は？【空】

朝通勤途中に、グラウンドで元気に遊ぶ児童の姿をチラッと見かけます。中には、半そで・半ズボンの子もいて、暖房のきいた車の中から見ているおじさんには考えられません。そのおじさんも年に数回、百葉の力で元気を出し、小島凡になるときがあります。【凡】

先月中旬、家族5人が次から次へとインフルエンザに感染。編集作業の真っ只中で1番忙しい時期に戦線離脱。今から大変なのに(ニヤッ)と思っていたら、これまでにない体の痛みが…。罰があたったのかもしれませんが。皆さんもインフルエンザにはご注意ください！【松】

ちまたでは、インターネット上で自分の日記を公開する“ブログ”が大流行。「天草Webの駅」(2・3ページ参照)を活用すれば、私にもできるかな?なんて思っています。でも昔は、日記はだれにも見られないように隠していたような…。時代も変わったなあ。【村】



航行の安全を見守る“マリア像”

Vol.25  
河浦町崎津

崎津の海の玄関口の岩場にたたずむマリア像。キリスト教信者などによって昭和49年に建てられて以来、付近を行き来する漁船の航行の安全と豊漁を静かに見守っています。

また、マリア像のかなたの水平線に沈む夕陽は絶景で、その風景を写真におさめようと多くのカメラマンが訪れます。



「与謝野夫妻の歌碑」

五足の靴一行の1人・与謝野寛は、五足の靴の旅から25年後の昭和7年8月、妻の晶子と末娘の藤子を連れて再び高浜を訪れました。

高浜では、高浜尋常高等小学



▲十三仏公園に建てられている  
与謝野夫妻の歌碑

校で講演するなどして、高浜の庄屋を務めた上田家に宿泊。また、現在の十三仏公園からの眺めを次のように詠んでいます。「天草の十三仏の山に見る 海の入り日とむらさきの波」(鉄幹〔寛〕)

「天草の西高濱の白き磯 江蘇省より秋風ぞ吹く」(晶子)

これらの歌は自然石に刻まれ、十三仏公園に建てられています。ぜひ、ご覧ください。

※「探訪・五足の靴」は今号で終了します。